

公益社団法人私立大学情報教育協会
2021 年度第 1 回情報セキュリティ対策問題研究小委員会議事記録

- I. 日 時：令和 4 年 3 月 8 日(火) 14：00～16：30
II. 場 所：Zoom 会議室
III. 参加者：中嶋担当理事、菊池主査、宮川委員、岩本アドバイザー
(事務局) 井端事務局長、野本(記)

IV. 検討事項

1. セキュリティ関連情報の発信について

情報セキュリティ関連情報のプラットフォームで、大学が抱えている問題に活用できるよう、情報セキュリティ関連情報の掲載について検討し、以下のような意見があった。

- ・ サイバー攻撃等の注意喚起については、継続すべきではないか。
- ・ オンライン授業でどのようなトラブルがあったのか、情報セキュリティ関連の課題を提示してはどうか。
- ・ 講習会では、ゼロトラストやクラウド関連の報告をしたが、大学の取組みを提示することで参考になるのではないか。
- ・ 大学の取組み(発信できる内容)、プラットフォームの利用、困っていること、情報発信への希望などアンケートを取ってはどうか。

2. 来年度の大学情報セキュリティ研究講習会で取扱うテーマについて

以下のような意見があった。

- ・ 事象事例や最新動向の紹介は必要ではないか。
- ・ ワークショップ・意見交換として、演習やゲーム形式での実施が考えられないか。
- ・ マネジメント向けとして、セキュリティにどのようなコストをかければ効果があるのかを説明できれば良いのではないか。
- ・ DX をテーマに Slack や Teams などのグループウェアや書類電子化関連を取扱ってはどうか。
- ・ オンライン授業の利点を生かした取組みで、セキュリティのポイントを説明できないか。また、教材の同時再生など不正防止策も考えられるのではないか。
- ・ 情報倫理教育をどのように教えるべきか。
- ・ テクニカルとマネジメント面を含め、クラウド活用でのセキュリティ、規程関連などセキュリティ監査などの視点を考えてはどうか。
- ・ 人権など倫理的なテーマを入れてはどうか。
- ・ DX 関連でワークフローの複雑さ、承認関係での問題を取り上げてはどうか。
- ・ トピックスの紹介と、大学に持ち帰れる実習が考えられないか。
- ・ AI を利用してセキュリティ関連での人やデータの異常を感知させる仕組みが進むことで、どの情報をどのように取扱うべきか倫理教育の必要があり、大学では人の行動を全て入手して検知できるようになる可能性はあるが、個人情報の取扱いとして十分考慮する必要がある。
- ・ 次年度の検討課題として、個人情報保護法に関連したセキュリティ問題を整理することを含めることにした。